

令和3年度 杉並区立済美小学校 ゆびとま情報

私たちと一緒に、済美小学校の子どもたちを育ててみませんか

1 学校の教育目標

済美小学校の大事な一人になろう (生命尊重・個性尊重)

- ・かしこく …学ぶことが好きな子 ※重点目標
 - ・心ゆたかに…思いやりのある子
 - ・たくましく…強い心と健康づくり
- みんなと生きる済美の子 (共生社会に生きる子)



2 学校経営の基本方針

- ・児童が生き生きと学ぶ学校
- ・保護者が安心して子供を任せられる学校
- ・地域と共に歩む学校 ※令和3年1月 地域運営学校コミュニティスクールへ

『すべての子供が生き生き学び、安心して生活できる学校へ』

子供あっての学校であり、教育活動である。「全ては児童の成長のために」

「今日は楽しかった、明日も楽しみ。」と児童も教職員も思える学校へ

そのために・・・

○職員間の意思疎通が十分にできる組織に

○職員それぞれの経験や専門性を共有し、お互い高め合える組織に

3 学校目標達成のための経営方針

(1) 各教科の指導の充実 教員の指導力向上

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・「学びの構造転換」自分なりの問い合わせを立て、自分なりの方法で知を学び取る学習への転換
問題解決的な学習 目標やめあてを明確にもち、振り返る 話し合い活動の充実
- ・高学年による教科担任制の実施 (理科・社会 等) 十分な教材研究による専門性の向上
- ・I C T を効果的に活用した各教科の実践 協働学習場面でのタブレット PC ロイロノートの活用
プログラミング教育の実践 (情報活用能力育成計画)
- ・学校図書館活用実践校としての読書教育の充実 各学年の課題図書の設定
- ・道徳科の授業実践「考え議論する道徳」へ
- ・外国語活動 (35時間)、外国語科 (70時間) の授業実践
大学連携「教職インターフィップ制度」(低学年への学生ボランティア)
 - ・済美計算検定 済美漢字検定
 - ・夏季パワーアップ教室

(2) 日本の伝統文化理解と体験学習の充実

オリンピック・パラリンピック教育 4年連続アワード校

政府認証「beyond2020」プログラム の取組

- ・様々な日本の伝統文化体験的授業による「日本人としての自覚と誇り」の育成
- ・地域人材を活用した体験授業

(3) 交流教育による豊かな心の育成

すすんで人とかかわり共生しようとする態度の育成

- ・「あいさつ日本一」をめざした、毎朝のあいさつ運動の実施
- ・生活科、総合的な学習の時間で実施する交流活動

堀ノ内保育園（1年）高齢者施設「大宮ふれあいの家」（2年）かしのみ学級（3年）

済美養護学校（4年）福祉施設「こすもす生活園」（5・6年）との交流活動

- ・大宮中と連携した地域清掃ボランティア活動、小中連携サミットの実施
- ・「国際理解教育」世界各国の方々との交流活動
- ・たて割り班活動「にっこり班」での異学年交流
- ・パラリンピックスポーツ「ボッチャ」を活用した校内及び校外での交流

自他の命を大切にする心を育てる

- ・いのちの教育月間」「ふれあい月間及び道徳授業における生命尊重の学習

(4) 健やかな体の育成

杉並区体力向上センター校(平成30年から3年間)としての取組

- ・校内研究による体育科の授業改善
- ・運動の日常化、体育的活動の充実「長なわチャレンジ」「縄跳び月間」「持久走月間」「はだしで遊ぼう月間」
- ・足からの健康教育 足育推進校（日本学校体育研究連合会）としての健康教育の実践

(5) 生活指導の徹底・教育相談の充実

問題行動の未然防止及び早期発見・早期解決 初期対応がすべて！そのための情報共有

- ・児童の情報共有の徹底 些細な事でも情報を共有し（生活指導夕会）学級で抱え込まない 管理職、学年間、SC、子ども家庭支援センター、関係機関との連携の徹底
- ・「学校いじめ防止基本方針」「いじめ対応マニュアル」に基づいた適切な対応

安全安心の確保・危機管理の徹底

- ・予防的安全指導（事前指導が基本） 些細な怪我もその起因を考え次の事前指導へつなげる
- ・複数の目で確認する安全点検 （学期初めは保護者と一緒に確認）
- ・教職員の危機管理意識の向上 看護当番活動の徹底
(事故怪我の対応・避難訓練・不審者対応訓練・救命救急講習・食物アレルギー対応)

(6) 特別支援教育の充実

「みんなと生きる済美の子」インクルーシフ教育の推進

- ・特別支援級と通常級の交流学習促進
- ・特別支援コーディネーター・SC・心理士・外部諸機関と連携した校内委員会の充実
- ・学習支援教員や介助員の適切な配置及び連携

(7) 教員の資質 向上

済美の教育の土台は教職員の組織力、共に笑顔で共感(共汗)しあう集団へ

- ・子供に寄り添い共感する教師 厳しくも温かい指導 (児童理解力・生活指導力・統率力)
- ・常に切磋琢磨し、学び続ける向上心 (自己研鑽・授業力の向上・専門性の向上 O J T)
- ・**情報共有 報告・連絡・相談・記録** 組織の一員としての自覚 組織として迅速に的確に判断
- ・接遇の向上 **社会人としての自覚** をもった保護者対応、電話対応 親切に、丁寧に、誠実に、
- ・働き方改革の推進 学校の棚卸し 行事や教育活動の精選
(会議の短縮化 夕会を活用した会議内容の精選 夕会 火・木)